

〒521-0062 米原市宇賀野 82-35  
TEL/FAX 0749-52-2036  
E-mail masafumi.mirai.tukuru@gmail.com



ホームページ



Facebook



Instagram



X (旧Twitter)



## ごあいさつ

新しい年を迎え、皆さまにはますます健勝のこととお慶び申し上げます。日頃より県政への温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。昨年開催された「わたSHIGA輝く国スポーツ・障害者」では、選手の活躍はもちろん、県民の皆さまの力強い支えによって、滋賀の魅力と可能性を全国に発信することができました。大会を通じて育まれた“支え合い”と“挑戦する心”は、私たちの大切な財産です。2026年は、このレガシーを地域の活力向上や次世代育成につなげ、より豊かな滋賀の未来を築く一年にしてまいります。県議会の一員として、皆さまの声を丁寧に受け止め、暮らしの安心と希望を実感できる県政の実現に全力で取り組んでまいります。本年も変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



国スポ障スポ  
天皇杯(男女総合1位)  
皇后杯(女子総合1位)  
獲得!



## Activities 2025年10月～12月

### 政策・制度要求と提言の申し入れ

連合滋賀2区地域協議会の皆さんとともに米原市へ提言、働く皆さんの思いを形にできるよう努めます。

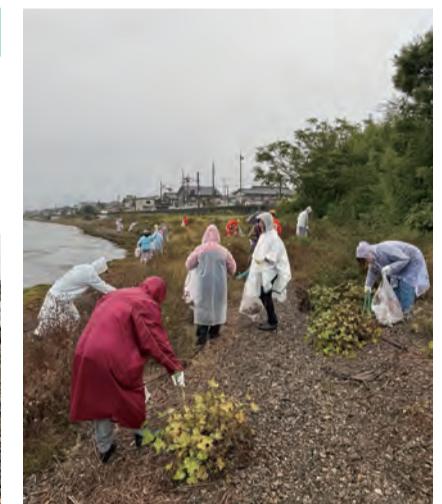


### 市制施行20周年記念式典

米原市が誕生して20年、これまで市の発展にお力添え頂いた功労者の皆さんの表彰や感謝状贈呈、あわせて20周年ロゴマークデザインの表彰も執り行われました。

### 稚魚放流活動と琵琶湖清掃活動

外来種の影響で減少している在来種のニゴロブナ(鮎寿司の魚)の稚魚放流しました。また、琵琶湖岸のゴミ拾いをあわせて実施させて頂きました。



### 滋賀KANAMEプロジェクト事業 in 米原大会

米原市・大津保護観察所・長浜保護区保護司会・米原地区会の三者が、罪を犯した人の立ち直りを支える「再犯防止の推進に関する連携協定」を締結。保護司の担い手不足や安全確保などの課題に連携して取り組み、再犯防止を進められます。



佐賀県と福岡県へ国スポ障スポ大会観光振興対策特別委員会の行政視察で、R6年春に福岡・大分デスティネーションキャンペーンを実施され、その経済効果や主な取り組み、プロモーションの方法など、その詳細をお聞きしてまいりました。

### 11月補正予算伊吹山関連

#### 伊吹山保全等対策事業……………58,000千円

伊吹山南側斜面の植生復元に係る工事。また、米原市が実施する植生復元に係る工事に対し支援。

# チームしが県議団

## 会派ニュース

NEWS  
#45  
2026.1



### 11月定例会議 代表質問 中川 雅史 議員が質問しました

#### 北部地域振興について

Q 県北部の少子化問題の捉えと今後の対応は?

A 知事 県北部地域を含め、多くの地域で生まれてくる子どもが減っていることを重く受け止めており「北の近江振興プロジェクト」を立ち上げて集中的に取り組んできた。今後も各市と連携し、この取組を更に推進するとともに、子どもが減っているからこそ、一人ひとりを大切にする視点もあわせて持ちながら、人やまちが活き活きと賑わう地域づくりを目指していく。

Q 北部地域の公共交通について、利用者へのサポートは整備されているのか

A 知事 北部地域では、令和3年秋に北陸線、令和4年春には湖西線において、昼間時間帯のダイヤが1時間に2本から1本に減便され利便性が低下している。各市等が利用促進に取り組んでいるが、コロナ禍前の令和元年度の利用者数まで回復していない。県においても、地域交通の充実により「よりよい暮らし」を実現するため、現在、滋賀地域交通計画を策定しようとしており、地元市の取組を県としても支え、地域交通の利用者を増加させることで、JR線の復便・増便にもつなげたい。

Q 北の近江振興プロジェクトのこれまでの成果と課題は?

A 知事 関係人口の創出は、地域の方々に目に見える形で恩恵・交流をもたらす北部地域の発展、未来への希望であると認識している。クラウドファンディング支援の取組などにより、移住と関係人口を3,000人増やす目標に対して、プロジェクトの着手から2年間で移住約600人、関係人口約900人となっている。今年度は、人手不足に悩む事業者と働きながら旅をしたい人をつなぐマッチングサイトの活用や、企業研修の誘致にも取り組んでいる。ジェンダーギャップや人口流出などの課題に北部3市や地域の多様な主体と連携しながら、引き続き取り組んでいく必要がある。

#### わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ大会を振り返って

Q 国スポ・障スポの成果は?

A 知事 多くの県民が「する」「みる」「支える」の様々な立場から大会に参加され、スポーツの力で滋賀が元気になった。特に子どもや若者が応援や運営補助などで大会に関わったことは、滋賀の将来を担う人材を育てる点からも大きな財産と考える。とりわけ、障スポでは、大学や専門学校等21校、約1,700人の選手団サポートはじめ、多くの人が障害者のサポートに直接携わり、今後の共生社会実現に向けた貴重な経験となったと思う。

Q 障害者スポーツの更なる普及や、共生社会に近づくための県の取組は?

A 知事 障害の有無に関わらず両大会を楽しんでいただきため、競技会場等のバリアフリー対策や、競技映像の配信などの環境づくりに取り組んだ。障スポでは、全競技会場へのカームダウンスペースの設置は大会初の試みであり、今後、利用状況などを踏まえつつ、普及を図ることが重要である。また、来場者アンケートを実施し、約600の方から、会場へのアクセスや会場設備、誰もが安心して過ごせる環境づくりなどについて意見をいただいた。これらの声も参考に共生社会実現に向けた取組につなげたい。

#### クマ被害の防止のために

Q 県内におけるクマの生息数および近年の出没件数、被害状況は?

A 知事 湖北および湖西にそれぞれ個体群が分布する。生息数は令和3年度で316頭と推定。出没件数は、平成22年度の322件が最多。平成26年度168件、令和元年度118件、令和4年度52件と減少傾向であったが、令和5年度は92件、令和6年度178件と増加、今年度は11月30日時点で113件である。

人身被害は、平成22年度の5件が最多で、令和元年度の2件以降は0件であったが、今年度は2件発生している。いずれもクマによる引っ搔きやかみつきによる裂傷、骨折などで、死者は出でていない。

Q 緊急銃猟に対する市町へのサポートは?

A 知事 米原市にて緊急銃猟の実地訓練が行われたが、他の市町でも同様の体制を整えることが必要。県としては、市町や警察に対し、緊急銃猟ガイドラインの説明を行った上で、特に市町に対しては、資機材準備のための経費も支援している。今後も、先行地域における緊急銃猟の実施事例などを共有して、技術的助言や、関係機関との調整など、市町への支援を強化する。

Q クマ被害防止の、短期的、中長期的な対策は?

A 知事 正確な生息数を把握することが重要で、現在、協議会を設けている京都、福井、岐阜等の各府県と連携して個体群ごとの調査を行っている。短期的には、人身事故の未然防止のため、市町における緊急銃猟のための体制整備の支援を進める。また、クマの出没情報等の共有や、集落内の柿などの誘引物の除去について注意喚起を行うなど住民の安全・安心の確保に努める。中長期的には、国や市町と連携し、専門知識を有する人材の育成を進め、多様な動植物が生息・生育する豊かな森林づくりに努めるなど、クマとの共生に向けて、人の生活圏とのすみ分けを図る。

Q 鳥獣対策を担う自治体職員の確保、育成を

A 知事 鳥獣対策は、専門性が高く、鳥獣の生態や関係法令などの幅広い知識を必要とする。国のクマ被害対策パッケージで拡充された鳥獣の保護・管理に関する専門人材育成等事業を活用する。

チームしが県議団

〒520-8577 大津市京町4丁目1-1 県庁本館2階  
TEL/077-528-4035 FAX/077-510-6520  
MAIL/info@knw.jp

発行責任者 / 今江政彦 編集責任者 / 赤井康彦



新しい一年が始まりました。世界情勢が不安定な中、先の見通しが立たない状況となっています。加えて、少子化、日本経済の活力の低下、地方の衰退・・・私たちの社会の問題は変わらずに存在します。ベストを尽くすことが求められます。

県においても、県民の皆さんに暮らしが豊かになったと感じていただけるよう、問題解決につながる「良い政策」を実行すべく、チームしが県議団として、今年も県議会の真摯で丁寧な議論をリードしていきます。引き続きのご支援をお願いいたします。

チームしが県議団 一同

#### 11月定例会議の代表質問の項目

- 大阪・関西万博について
- 北部地域振興について
- 日中関係の本県への影響について
- 国際交流について
- 公共施設等マネジメントについて
- 滋賀県立美術館の再整備について
- 国スポ・障スポ大会を振り返って
- 琵琶湖の価値の共存・共存・共有について
- クマ被害の防止のために
- 本県の子どもたちのいじめや暴力行為、不登校等の状況と対策について
- 交通事故対策について

ご動  
覧  
く  
だ  
さ  
い

中川議員  
質問



【滋賀県議会公式サイト】滋賀県議会録画放映

答  
弁



#### 知事に提言を行いました

新年度予算策定の時期です。12月10日にチームしが県議団として知事に令和8年度予算と施策に関する提言書をお渡しし、新年度の予算や施策について意見交換を行いました。

各種団体をはじめ、県民の皆さまからの声をもとに作成した提言です。声が反映されるように取り組んでいきます。



彦根市・犬上郡

近江八幡市・竜王町

守山市

大津市

大津市

甲賀市

野洲市

米原市

彦根市・犬上郡

大津市

あかい やすひこ  
赤井 康彦

いまえ まさひこ  
今江 政彦

おがわ やすえ  
小川 泰江

かわい あきなり  
河井 昭成

さぐち よしえ  
佐口 佳恵

たなか まつたろう  
田中 松太郎

とば よしあき  
富波 義明

なかがわ まさふみ  
中川 雅史

なかざわ けいこ  
中沢 啓子

のだ たけひろ  
野田 武宏

